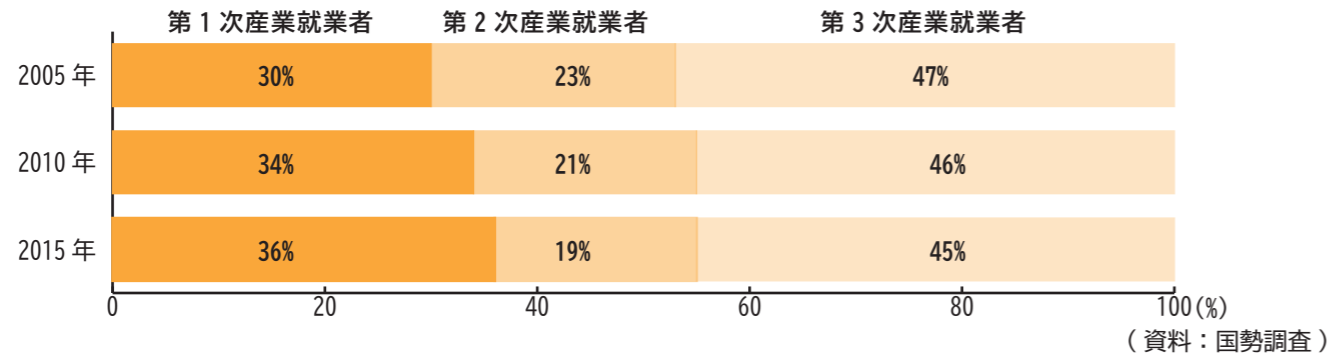


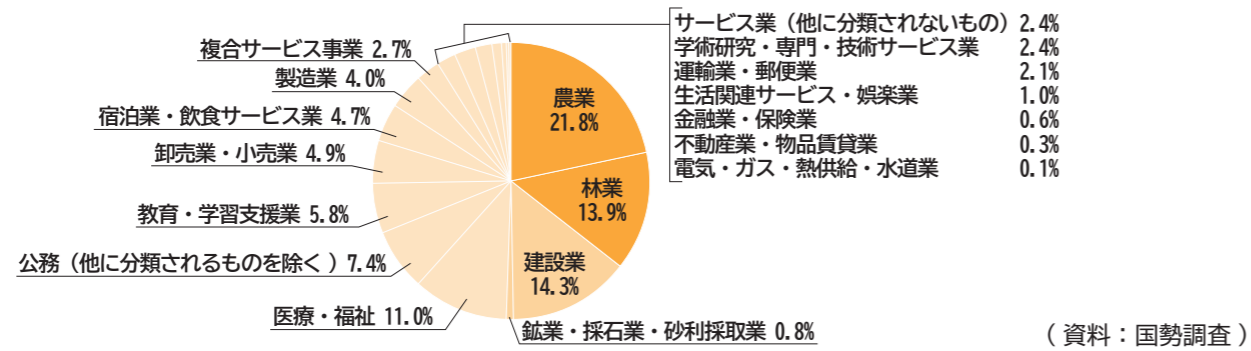


## 現状

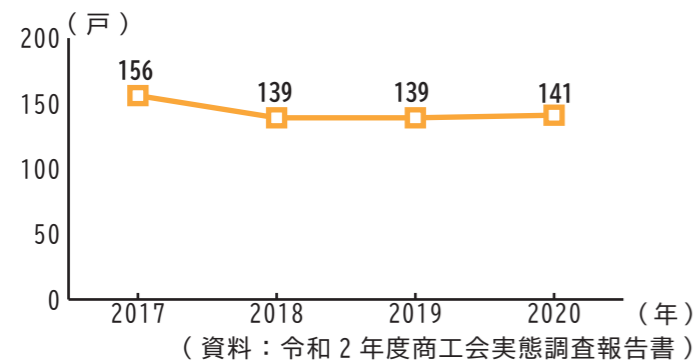
【産業別就業者人口比の推移】



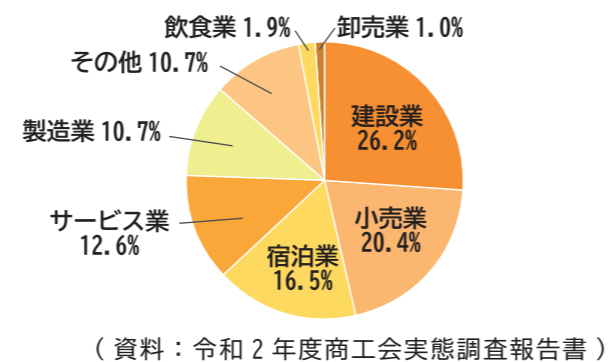
【産業構造】



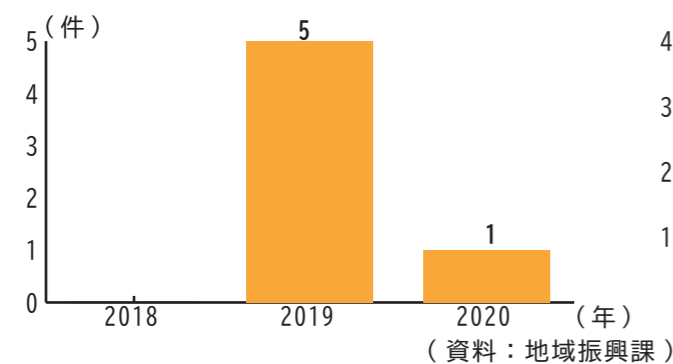
【商工業者数（事業所数）の推移】



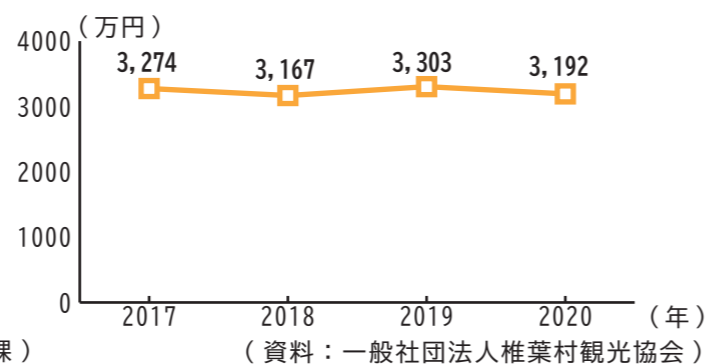
【2020年度の商工会員数103事業所の業種別割合】



【商工業における創業件数の推移】



【物産センター物販部門の売上高推移】



## 目標

「(1事業者あたりの収入)×(事業者数)」の増加を目標とし、その過程で良質な雇用の創出を図ります。

数値目標	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)	備考
事業者数	141件	141件	令和2年度 商工会実態調査報告書より。
雇用創出数 (5年累計)	-	15人	地域振興課の独自指標。次頁(4)~(8)の取組により創出された雇用総数。
ふるさと納税寄付金額の内、村内事業所の売上高	13,764千円	24,000千円	グラフは「22. 財政基盤の安定化」に掲載。

➔ 関連する個別計画 第4次椎葉村観光振興計画（期間：2014～2023年度）  
第2期まち・ひと・しごと創生 椎葉村総合戦略（期間：2020～2025年度）

## 行動指針

- (1) について  
外部人材登用により、村内で開発された地場産品の売上増加実現します。
- (3) について  
事業展開しやすい環境づくりとして、事業者の声に基づき、どぶろく特区申請等の取り組みをおこなっています。
- (4)~(7) について  
商工業者向けの各種支援策について、民間事業者との対話を定期的に行い、今後事業者ニーズにあった支援策を立案・実行することで数値目標を達成します。
- (8) について  
1次産業並びに、製造業・商業分野において良質な雇用環境を創出するとともに事業者の人手不足を解消すべく新規で特定地域づくり事業協同組合事業の検討を行います。

## チーム



## 施策の体系

1事業者あたりの収入(売上高)が増える

事業者数の減少が緩やかになる

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
事業者数	141件	141件

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
雇用創出数 (5年累計)	—	15人

## (1)村外向けの販売活動を支援します。

外部人材登用により村内で開発された地場製品の売上増加を目指します。

【主な事業】 むらおこしグループ運営事業  
農産振興事業(ソフト事業) 観光費(大阪地区アンテナショップ運営事業)

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
ふるさと納税寄付金額の内、村内事業所の売上高	13,764千円	24,000千円

## (2)村内の需要を喚起します。

下記の事業に加えて商工会に対する運営補助を行ないます。

【主な事業】 プレミアム商品券事業 イベント補助事業

## (3)その他の経営支援を実施しています。

事業展開しやすい環境づくりとして、事業者の声に基づき、どぶろく特区申請等の取り組みを行います。また、商工会への運営補助を通じた間接的な支援を行ないます。

【主な事業】 地域振興コーディネーター設置事業

## (4)創業・起業を支援します。

【主な事業】 地域おこし協力隊起業支援補助金事業 商工業振興事業

## (5)事業承継の支援を検討します。

事業承継に関する事業は現在ありません。今後事業者のニーズ(意向)を確認し、支援の方向性を決定します。

## (6)企業を誘致します。

【主な事業】 ワークেশョン創出総合支援事業

## (7)業種転換や多角化に向けた支援を検討します。

今後事業者のニーズ(意向)を確認し、支援の方向性を決定します。

## (8)人材を確保しやすい環境づくりを推進します。

【主な事業】 雇用対策事業 特定地域づくり事業協同組合事業(新規)